



2022 年 11 月 21 日

報道各位

国立大学法人 東北大学
国立大学法人 東京大学
国立大学法人 東京工業大学
国立大学法人 横浜国立大学
国立大学法人 福井大学
国立大学法人 大阪大学
国立大学法人 神戸大学
国立大学法人 岡山大学
学校法人 早稲田大学
学校法人 東京理科大学
シュプリングナーネイチャー

**研究大学コンソーシアム（RUC）のメンバーを中心とする国内 10 大学が
シュプリングナーネイチャーとオープンアクセス論文出版の促進に関する合意書に署名**

～ 世界に向けた日本発研究成果のオープン化促進を図る ～

東北大学、東京大学、東京工業大学、横浜国立大学、福井大学、大阪大学、神戸大学、岡山大学、早稲田大学（以上 RUC 構成機関）、及び東京理科大学の 10 大学の図書館長とシュプリングナーネイチャーは、2022 年 11 月 7 日、論文のオープンアクセス（OA）出版の促進を目的として、2023 年 1 月からジャーナルの「転換契約」^[注]に係るパイロットプロジェクトを進めるための合意書に署名しました。

この画期的なパイロットプロジェクト（以下「当プロジェクト」）では、OA 出版の促進による日本の学術研究のさらなる発展を目指し、以下のような目標を掲げています。

- 当プロジェクトの参加大学とシュプリングナーネイチャーのパートナーシップにより、日本のオープンサイエンスを推進する
- 日本の学術研究とその成果の認知度を世界的に向上させる
- 研究者の OA 論文出版のコスト負担を軽減させ、より多くの研究者による OA 出版を可能にする

- ジャーナル購読にかかる費用を軽減し、シュプリンガーネイチャーの広範な学術ジャーナルへの継続的なアクセスを保証する

この目標のため、シュプリンガーネイチャーは当プロジェクトの参加大学に対して、国際的なシュプリンガーの 2,000 誌以上のジャーナルにおいて年間で合計約 900 報の OA 出版枠を提供します。これにより、参加大学の研究者から対象ジャーナルで OA 出版される論文数が、従来と比べて 4 倍以上に増加することになります。

当プロジェクトは、日本からの研究成果の国際的なオープン化の促進に向けた重要な一歩となります。各大学からの研究成果が OA 論文として即時公開されることで被引用数などの論文指標が高まり、各大学の国際的な評価の向上などに寄与すると期待されます。また、オープン化により世界中の一般市民等からも研究成果にアクセスすることが可能となるなど、オープンサイエンスの進展にも寄与します。

RUC 幹事機関である自然科学研究機構の小泉周特任教授は次のように述べています。

「今回、これだけ多くの大学が、世界的な出版大手のシュプリンガーネイチャーと協働し、世界に向けた日本発の研究情報発信のオープン化に取り組むことに合意した意義は大きいと感じています。今後、より多くの大学にこの取り組みに参画してもらえよう努力したいと思います。」

当プロジェクト参加大学の東京大学副学長、附属図書館長の坂井修一教授は次のように述べています。

「日本の研究の国際発信力の低下が指摘される昨今ですが、論文の OA 出版に関するこの合意によって、世界中の誰の目にも触れる形で研究成果を示し、私どもの知の産物を広く周知・展開できるようになります。本学においても、この実践が最先端分野のトップ研究者の育成や多様な学術の振興を導くことを強く期待しています。」

シュプリンガーネイチャーの Chief Commercial Officer, General Management, Carolyn Honour は次のとおり述べています。

「権威ある日本の大学の研究論文発信の OA 化の促進に対し、当社が支援させていただきますことを大変うれしく思っています。日本の研究コミュニティのニーズを充分考慮して構成された世界的にも先駆的な合意により、それぞれの大学の研究者は、確実に OA の恩恵を享受することとなり、彼らの研究のグローバルな認知度を高めることができると信じています。」

[合意書（ジョイント・ステートメント）の本文はこちら](#)

[注] 用語説明

転換契約：一般的には、論文の閲覧のために大学等が出版社に対して支払う費用を、論文出版のための費用（論文掲載料）へと段階的に転換させ、それによって論文の OA 出版の拡大を目指す契約のことを指す。

研究大学コンソーシアム（RUC：Research University Consortium）について

日本の研究の現況において、トップ層だけでない研究大学群としての層の厚みを増し、「知の集積」を強化することが喫緊の課題となっています。そのような現況において、研究力強化に取り組む大学及び大学共同利用機関法人がコンソーシアムを形成し、各大学等における先導的取り組みや課題の発信・共有によりネットワーク化を推進すること、それらを全国的に普及・定着することを目指して、『研究大学コンソーシアム（RUC）』が設立されました。2017年8月4日の第1回全体会議の開催を以て発足以来、研究力分析や国際情報発信、分野融合の課題に優先的に取り組んでおり、研究力強化の方策・体制の整備等に関する共通の課題について、必要に応じて文部科学省関係部局を交えた俯瞰的な討議を行っています。

2022年11月現在、RUCは36の大学等機関で構成されています。 [RUC ウェブサイトはこちら](#)

シュプリングーネイチャーについて

シュプリングーネイチャーは、180年以上にわたり、研究コミュニティ全体へ最良のサービスを提供することによって発見の進展に貢献してきました。研究者が新しいアイデアを公開することを支援するとともに、公開するすべての研究が重要でロバストであり、客観的な精査にも耐え、関心を持つすべての読者にもっとも良いフォーマットで届き、発見、アクセス、使用、再利用、および共有されるようにします。私たちは、テクノロジーやデータの革新を通じて図書館員や研究機関をサポートし、学会に出版を支援するための優良サービスを提供します。

学術出版社として、シュプリングーネイチャーは、シュプリングー、ネイチャー・ポートフォリオ、BMC、Palgrave Macmillan、Scientific Americanなどの信頼されたブランドを有しています。

[シュプリングーネイチャーウェブサイトはこちら](#)

シュプリングーネイチャーのオープンアクセス(OA)及びオープンサイエンスの取り組みについて

シュプリングーネイチャーは20年以上にわたり、OAへの持続的な移行に努めています。現在は、転換ジャーナルや転換契約など、数多くの新たな手段を自在に駆使してOAへの移行の推進を支援しています。OAはオープンサイエンスへの前進のための大切な一歩であると確信しています。

2022年8月にシュプリングーネイチャーが発表した、[OA 報告書（英文全文はこちら）](#)によれば、シュプリングーネイチャーの完全OAジャーナルに論文を出版した著者は、以下の恩恵を得ていることが明らかになっています。

☆より多くの人々が、論文著者の研究成果を閲覧、ダウンロードしている

☆より多くの人々が、論文著者の研究成果を閲覧、利用している

[ダウンロード数、被引用数、出版分野選択肢数の具体的数値や他出版社との比較はこちら](#)